

農業科3年生が銚田北小学校5年生と田植えをしました

5月23日（月曜日）に、銚田第二高校の農場の水田で、農業科3年生（作物専攻）の5名が、銚田市立銚田北小学校5年生約70名と田植えをしました。

この取り組みは、小学5年生の社会で稲作について学習する児童が、手作業による田植えを体験することで農業をより理解してもらうことを目的にして、銚田第二高校と銚田北小学校が連携して毎年実施しています。

あいさつの後、高校生がマンゲツモチの苗を1束ずつ小学生に手渡しました。苗を受け取った小学生は、素足で田んぼに入り、手足を泥だらけにしながら、ひもの目印にしたがって、苗を3～4本ずついねいに植えました。

作業を終えた小学生は、「みんなで一緒に作業をして楽しかった」「田んぼに入ったのは初めての経験で、足がなかなか抜けなくて大変でした」「泥を踏んだ時の感触が気持ちよかった」「収穫が楽しみ」などと感想を話してくれました。

農業科3年の沼田惇哉さんは、「田植えの体験を手伝うことができ、とてもうれしく思いました。稲作は日本の農業の基本なので、今回の経験を通して、多くの小学生が農業に興味をもってほしいと思います」と話してくれました。

今回植えたマンゲツモチは、9月下旬頃に、小学生と高校生と一緒に収穫作業を行う予定です。おいしいお米ができることを期待しています。

1 小学生に苗を手渡す様子（5年1組）



2 田植えの様子（5年1組）



3 田植えの様子（5年1組）



4 田植えの様子（5年2組）



5 田植えの様子（5年2組）



6 おわりのあいさつ（5年2組）

